

事務局 便い

2023年1月号

新年あけましておめでとうございます。

相変わらずコロナに振り回されていますが、なんとか今年の中で落ち着いて欲しいものです。

さて、「事務局だより」は2013年新年号からのスタートで、今年で11年目を迎えます。皆さんに気軽に読んで頂けるように、でも情報はキチンとお伝えしたいと考えています。

本年も宜しくお願いします。



塔の岳より(1/9)

地域産業保健センターでは、労働者数 50 人未満の小規模事業場の事業者やそこで働く人を対象として、労働安全衛生法で定められた保健指導などの産業保健サービスを無料で提供しています。ぜひご活用ください。

小規模事業場向けサービスの内容

- ◇労働者の健康管理（メンタルヘルスを含む）に係る相談
- ◇健康診断の結果についての医師からの意見聴取
- ◇長時間労働者及びストレスチェックに係る高ストレス者に対する面接指導
- ◇個別訪問による産業保健指導の実施



支援はすべて無料です！

詳しくは、ホームページをご覧ください。

(<http://www.kanagawas.johas.go.jp/>)

独立行政法人 労働者健康安全機構

平塚地域産業保健センター

〒254-0082 平塚市東豊田 4 4 8 - 3 平塚市医師会内

Tel 0463-52-0355 Fax 0463-52-0356

神奈川産業保健総合支援センター

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町 3 - 2 9 - 1 第 6 安田ビル 3 階

Tel 045-410-1160 Fax 045-410-1161



今後の講習会予定(空席有り)

- 1) 2月21日 (火) 安全管理者選任時研修
- 2) 2月22日 (水) 労務部会講習「最近多い労務関連の相談事案について」
- 3) 3月8日 (水) フルハーネス型墜落防止用器具特別教育
- 4) 3月9日 (木) 職場リーダーのためのメンタルヘルス講座
- 5) 3月14・15日 (火・水) 職長教育
- 6) 3月16日 (木) マスクフィットテスト実施者研修
- 7) 4月4・5・6日 (火・水・木) 新入者安全衛生教育:平塚市勤労会館
- 8) 4月12日 (水) 新入者安全衛生教育:秦野商工会議所
- 9) 4月25日 (火) フルハーネス型墜落防止用器具特別教育
- 10) 4月26日 (水) 安全管理者選任時研修



「令和4年度 神奈川労務安全衛生大会」のお礼

11/18(金)開催の神奈川労安全衛生大会は、オンデマンドによるWEB開催となりました。平塚支部からは、12支部の中でも主催支部の小田原、藤沢、に次ぐ207名の方に申込みいただきました。ありがとうございます。

本部より参加奨励金も出ることになり、厳しい支部財政の一助となりました。

労働安全衛生法の新たな化学物質規制

労働安全衛生規則等の一部を改正する省令等が施行されます。

以下、事業場における化学物質の管理体制の強化についての概要です。

* 化学物質管理責任者の選任の義務化 2024. 4. 1 施行

リスクアセスメント対象物を製造し、取扱い、または譲渡提供をする事業場

* 保護具着用管理責任者の選任の義務化 2024. 4. 1 施行

リスクアセスメントに基づく措置として労働者に保護具を使用させる事業場

* 雇入れ時教育の拡充 2024. 4. 1 施行

雇入れ時等の教育のうち、特定の業種では一部教育項目の省略が認められていたが、この省略を廃止する。

* 職長等に対する安全衛生教育が必要となる業種の拡大: 2023. 4. 1 施行

現状の対象業種に、以下の業種が追加されます。

- ・食料品製造業
- ・新聞業、出版業、製本業、印刷物加工業

詳しくは、厚生労働省 HP を参照願います。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_25984.html



「新入者安全衛生教育」開催予定について

今年入社される新入社員教育のお問い合わせが多くなっています。

例年、ご希望の日時が集中いたしますのでお早目のお申し込みをお待ち申し上げます。

4月4日から4回(内、1回は秦野会場)を計画しています。

また、出前講習も受け付けておりますので、まずは事務局までご相談下さい。

皆様のお役に立てる平塚支部を今年も目指してまいります。



「マスクフィットテスト実施者養成研修」開催します！

3/16(木)支部初めての取組みとして会員でもある環境測定会社ダイワさんにご協力頂き「マスクフィットテスト実施者養成研修」を実施します。

皆様のご参加をお待ちしています。



事務局長のひとりごと・・



《42歳のおばあちゃん》

今年はどうな1年なるのでしょうか。皆さん目標とか立てましたか？

昨年11月に、地域・職域の会合で曽我病院の方から若年性認知症についてお話を伺う機会が有りましたが、ふと、「42才のおばあちゃん」のことを思い出して笑いだしそうになりました。

数年前の1月下旬の寒い夜の事です。仕事を終え自宅へ帰り、いつものように犬の散歩へ。(夜の8時半頃でしょうか)すると真っ暗な中、誰かがフロック堀に手をつきながらフラフラと歩いてます。近づいてみると白髪のおばあちゃん。

「今晚は、大丈夫ですか？」と声をかけると

「大丈夫よ、今、家に帰る途中よ」と元気な声が返ってきます。

良かったと思い、追い越して散歩を続けようかと…その時、懐中電灯の明かりで見たのは靴下だけの足！靴はいてない！良く見ると真冬にも関わらず、上着は薄手のカーティガンのみ おやおや、再度、

「おばあちゃん、ホント大丈夫、お家近いの？送っていくよ」

→「大丈夫、すぐそこだから」

「すぐそこって、お家はどこ？あっち？それともこっち？」

→「えーと、えーと、どっちだっけ？」・・それから、

「お家の電話番号は？」→「96の、96の、忘れちゃった!？」

「お名前は？」→「OO O子ですよ。」

「お年は？」→「42才よ」・・どう見てもかなりご高齢だけど？

これはまずいなと思い警察へTEL。お名前は本当だったようで、「SOSネットワーク」に登録されていたようです。ご家族が、迎えにくるとのこと。

それから、ご家族が来る迄、おばあちゃんと楽しい会話を続けました。

42歳のおばあちゃん、何回聞き返しても42才、決して若年性認知症ではないと思いますが、ご自身は42才から年をとっていないのでしょうか。

(徘徊高齢者等SOSネットワークなる登録制度があることは、最近知りました)

散歩の時も携帯電話は忘れずに・夜は懐中電灯もね・おばあちゃん元気かな・

・・深堀です。